東京電話』わが政府のスペイン國フランコ

國と不可分一體の關係に

フランコ政権・

一電に接した機関新港理は一日午 水器に新して一日イタリーより

如言ラデオ放送を行った。

三とになった、かくて往年東一教育は更に著し言語迎を達げ

けふ公文交換を了す

東西の防共陣益々强化

る一大の無関系の緊然なる存在はいよく、他親に確認されることとも、相呼感した関節的亦包工作影角の法問題要が強化されてヴァにおけません。かくて日、河、伊、流池園、フランコ政権の間に東西、表しれ、かくて日、河

【寫眞上 張蘭洲國總理、下 フランコ將軍】 | 等に夫々慰謝電報を験し

朝から陸安神の丘陸を建つて西北一館の部落を出環した向つて猛地中の我〇〇部隊は二日一館の部落を出環した

長官は一旦新聞能者順との含見に「ワゲントン」日间盟」ハル國務

米國務長官言明

【廣傳二日间題】廣傷から鄭漢に

還要求內容 英紙の報道 起してゐる

、ドイツ政府は英佛領トーゴー 右報道に對してはイギリス政府は

南京戦線帝京へあと言き

大本資海軍部一 に〇〇〇キロの互弾を浴びせ

名である

像は五門山麓を題つて暦治撃に

一計するドイツの友好的態度を

一後の協力を要請した更に功・化を感び東望においてもこの防共一駆けたければならんと力戦

共協定の成立及び世界防災戦の強

會見においてピットラー線統は防一に努力すべき決酷を示し見つその

精神に則り日本に協力平和の確立 ために南隣は塩々富関歴兵の質を

英飛行艇五機

・寄贈しての等を払った。 譲い「山陵民便節も總統に會見したが右」

向け進撃中の日本部隊は一日半早くも横進開始――一方澤聯に 京旗を職した、更に廣徳店館長

Pの地質に造した。丹陽の敵は

【上海一日问题】上海中被转数と 米アジア艦隊 旗艦マニラ

長距離大編隊飛行

(各通)

| 糊練の大飛行は來华五月まで半年| 【そスコー】日同盟】ソヴェート| 計画であると言つてある。| 上途につくこととなつた、この大

蘇聯の工業生産額

澳門を狙う

県は富田の重要問題打學務局長東上 動務ヲ命ス 原田 勘一

 \bigcirc

来る廿日垣間任の豫定 一日午後二時四十分京城 一日午後二時四十分京城

人

ア 同上 2里で新京へ赴任 2里で新京へ赴任

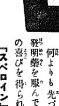
匍國と親善關係強化













の喜びを得られよ

は直接酸毀元へ御中込下さい あますが、 萬典店に 取次がれて 「スペロイン」は全

地支黄

『のぞみ』で赴任

あと百キロ足らず、

き、追撃の進き、共に

薬店にあり 安語天王帝四〇一五番 版書大阪七五二四番 版書大阪七五二四番 人阪市天王寺區東平野町上丁日 **廿五経消鮮四拾五銭を要す** 変製前金は無料代金引替四地

城は京滬鐵道及び鎮江、深陽街道の契衡で水路は江南大運河の深陽、漕河の分岐點に當り古來絹織物の産地とし 【常州にて二日同盟特派員發】一気に 纘々退却を始め鎮江に通ずる街道上を酉北方に向け潰走中である、なほ我軍の猛攻撃によつて陥落間近の丹陽縣 【上海二日同盟至急報】丹陽停車場を占據した我○○部隊は城內殘敵と二日早曉來激烈な市街戰を演じつ 銃眼から猛烈な機關銃の一齊射擊迫擊砲等を以て頑强に抵抗してゐるがわが軍は次第に束と南から丹陽を包閣す |常蝌にて一日同盟特派員發]|丹陽の敵はわが空軍の猛烈な空爆と 교上部隊の果敢な攻撃に浮き足立ち夜陰に乘じ 常柳にて一日同盟特派圖設】一日夜丹陽停車場を確保した結果南京と上海を結ぶ京源鐵道三百キロの三分の三は ν剱丹陽に迫り、夜に入ると共に丹陽縣城まで僅か六百米の距離に肉薄し域内の敵と激戦中である、敵は城壁の常쎆にて一日同盟特派昌登]京滬鐵道に沿ふて一日時口鎮を援いた大野、片桐各部隊は敗走する敵を追撃して同 Q體勢をとり午後八時には早くも丹陽停車場を確保した。 城内の敵と大激戰 の中塘橋に進出、その先鋒は既に金壇城に肉薄してゐる 長樂舖占據 早曉來、激烈な市街戦 /陽停車場を確 の敵續々退却開始 陷落目睫の間に迫る かくて丹陽陷落は今や目睫の間に迫つた

「「「「ない」では、ヒットラー機械は、こっトラー機械を正明にはっトラー機械を正明に属任の

路駐園大使は一日正午總統官

王の知恵を得て一世一代の社論に関の一式七七年常時エリザベス女 ドレーク氏で今を表る三百六十字最初の世界胼胝着はフランシス・

一周近行を述える樂定である
一周近行を述える樂定である
一月ニューザウス・ウエールス州、に飲れば、一子九百世八年成工樂室・学址代表として参加し次いで戦略、近戦は、一子九百世八年成工樂室・学址代表として参加し次いで戦略、近戦は、一子九百世八年成工樂室・学址代表として参加し次いで戦略、近戦のも入百四十四戦者、総計戦・

金壇を屠らんと天王寺街道を西進中の○○部隊は本日午前十時金壇東方約

部隊は二日午後零時 金墳城に殺到城内の敵と大激戦を演じつつわり、【上海二日同盟至急報】中塘橋より一氣に金塡に迫つた大野助川等の諸

焼の歌を姿明すると共に右ラン||所有ランチ抑留事件について道||一日上海日本宮間にアメリカ人|

南總督けさ小磯

東京支社特電

と傳へられ、英國の目指すところが果して那邊にあるかは不明なるも極東における唯一のボルトガル領土たる南るが、英國の主たる目的は萬一の場合ボルトガル國河土に英國海軍の根據地ならびに空軍飛行場を設置するにあり認問題につき8条の祖軍繼暦を駆撃を返費さんとするものである」部公式に繁明した。英國軍部代表著は既にポルトガルの宣游リスポンに駆り発展地に連備変戦を進めての 友の照門(廣東灣入口の西岸に位むし同海を隔てゝ英領香港に對す)がその最も重大な目標の とは疑いないところで、極東に於ける事態の服務に鑑み英國の態度は極めて独自されてある

タリー紙の所論

御より一つの質行の方

と松井勝軍叫破

施、即やかしき新田

知る

満洲國における 法權撤廢を慶祝

らその事を就へてゐたの **六頁朝刊八頁**

初めて揺りの論調利您に避くものにあら

で押し進して行から 日本は宣傳が下手と言

・胎軍の言葉通り『不

し、これに對しわが方の推派は一京漢戦線大本管際軍部 日無水、金塩などに鶏の大爆撃 [1] **古期間におけるわが部隊の戦死** 事態發生以来わが海軍における 海軍の戦死者、大年祭徒

大事等取扱ヲ命ス大事等取扱ヲ命ス

学校局頭楽田聖所風事派出所長ヲ 朱安、南澗、技手、清ロ - 東次 朱安、蘇業、技手 - 笠田堆四郎

研究州坂道所動物ラ 下田 藤八 京城地方學寶局在砌原田、勘一

、成興販資所動物9

説明を職取し現下の諸重要問題に

武者小路大使 ヒ總統ご會見

全州地方書聲局在勒格原 義夫 京城地方專賣局在動

髙貴藥配合 日一服

主治效能 氣管支性(おずから)

ぜんそく 心臟性(於國內) ぜんそく

氣管支

○職者では今次非種に際し大政省 管軍事投献的金一日一国以上の に決定したが経路駅は左記の通

大藏省が威謝狀

心年 曾をやめ

白衣勇士を慰問

京畿道知事官房職員

は補助を受けざれは主語し得ざる民は辛うして生語するもの、解氏 会社の社職は物に訪目される(細音和工業の発展、工事の利益に伴

り、釈氏月敷に放て八百二十二月|無臓で住房を構へてゐた土益り、釈氏月敷に放て八百二十二月|無臓で住房を構へてゐた土益り、「娘の整理による官有地」私有し

阪で渡船顚覆

電車規則を改め

交通道德を徹底

鍋頭京談道當局研究

幸らじて六十餘名を設ひ上げたが、行方不明者は多數に上る見込みで現

本限軍を構つて立つべき將日削省報で競表になった。 校練科人學試験暗れの合格

半島から三名

五トン)の風浪による観響

除隊者に職業輔導 帥團司令部と連絡とり 各職業紹介所や府や道が斡旋

正月用慰問品は 八日戦線に發送

向地攻撃で左腕貫通統制を受ける八月十九日に里村附近の七〇 田上等兵慰靈祭

全鮮的に同情週間

新聞を新り除版者の数階級に近 卸小賣京城本町一人開新 歌稿指導さの他選切でる 卸小賣京城本町一人開新 歌稿指導さの他選切でる サル 青京城本町一人開新と解りに除る。

後の刀圭美談

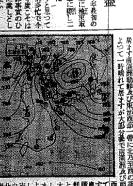
出征勇士の家族に醫療奉仕

六日までは受ける

無料診断しまた最近般れず、

徳永博士と三浦博士

景が聴こる京都道始異都西一により永登浦署では時局保持



川の合百狩り

方不明者多數を出す 定員以上に満載しての終事 ー圓を拐帶 何れつか姿を晦ます 共産黨を名乘る 水登浦署で嚴重捜査 北鮮に雪が積る 平南西乃至北晴れたり 屋上の捕物 天氣豫報命

方は早々に御出で下さい!! 大代の高田墨村師愈々當地に出り福岡の名刹眞宗本誓寺住職十り福岡の名刹眞宗本誓寺住職十

難病者

に急告

JEZ

98

聖室

閩

職

場所 期日

南大門通御成旅館

電話本局② 長八四三

月二日より

東京 選 東京 龍 赤 雪 社 東京 龍 赤 雪 社



るにしてるた例年食を今年は「真宝を暗呈する事にした

構心坚牢無比しております。

送呈

特約店にて伽買上げ願い

ロストル・獨特の動揺式

前温炭貯駅里市占州京

灰心店商二次

部炭后店商

共心國産隨

窓店

では抜口者の社金を配摘して都ち 士を夢令人々で埋めつくし、太田所足をはじめ河店の人々及び町内 参加し繋頭はこの見知ら的底の勇 行をさかんにするやこれを知つた

買上げ決定

望遠鏡は大隊長だけ持つ

量藤少佐の土産話

渡邊君の陣中便り

山本一等兵戰傷

(群山)沃满州州井面阿米市北县 際兵山本祭氏(香川縣出身)は·

時十分既時列軍で釜山戦機に野産の職友遺族に纏られて一日午前八 可內務部是、山本府尹、期川河際

洪蔵で毎日放課後一時間各學年交|類は中崎勝校四百七十八周六輪、 来忠南十萬の職員生徒見貮が堅い一納する事になったが九月分の奉仕

|釜山南西路梁|||間就航の定期船 船員抗議 給料貰へず

朗らな感激の嵐

航海中の船員に召集令狀

見知らぬ人に情は集まり

譽れの首途を祝福

もなく捜査隊が再度同人家を襲つ 掛ければならぬといったものが間

三丁目の質家に安置された

原北文部豪華有馬五郎氏宅 本部では同人を有力な容疑者としている。 選ぎ邑内森町、朝鮮金融組合 爆となるべき物がなかつた、捜査 の外由を狙つて怪魔が押し一て指名手配行方を探索してゐるが に逃亡、家宅搜査の結果は何等政 の運輸手二十一名はまる十一月上

2家のベソキ皇月伝から征 | 夏東公園山麓から独行用の出及底 慶南自動車の居昌營業所

各地にも動揺の兆 て普及者長に前配三名の後職方調 た選得手らは各官群張を懐中にし て器種したので去る二十九日残つ

嬰兒殺し

治せ!弱い体質・腺病質銃後の護りは、健康から、

Z

寒地獄を現出

市計令質施で小屋掛けを許されず

細民の大群寒波に戰く

府當局も大頭痛

に船の應接

科學的に色を白くする法無理からでもお奬めしたい

黒き方

なれる所に又人気が なれる所に又人気が

共主使はねば色日東

は入らないのと同

栗院學術部

東方面に綴六千戸、二萬九千名の「不影差な小原掛は覆められないの「問題に鑑賞な微観を終してみる。「「題は「時間は「慢けて確認物に織」され、細胞に「けの運立に誇られないので、伴てみる事實がある。「問題は暗角越」

で冬季戦弾を如何にするかといる。一右について府常局では非常時職戦

労働者とその家族が確単で被小屋

「褒帯してゐるが、この六千戸の 子名を上下してゐる、

尊き護國の人柱

命取

で推翻機否があつて連絡船信飾丸一の郷里へ向つて無質

の統時便者和九に乗船・十一時四

學童の汗の奉仕

一ケ月分だけで二千三百圓

年二萬圓造成期待

単盛の下に轉げ込んだ玩具を取り 用自動車會社の大部乗合自動車が色内郵便所削で停車中であつた際

靴下ご羊羹

急ぎ前戦の將兵に送れ戦地慰問品の最適具

一十线、合計二十二百九十四回二十

本具の用途効能

井州男士の邑葬

進んで功名を現はす

☆ カタログ進呈 ☆ 定價 图本品着用者 圏ピストル弾 最近距離にても有効 海外旅行者,戰關用、繁備用 發氣工事人 ВΑ

特約販賣店募集 沈参

大日本國

替大阪一五四〇〇番話 東 六二八五 郡 即 人二八五 郡 所

鳩居堂の お衣裳に書簡幅に - E 東四九八〇番

り防寒用ごしても網も多量に使用し網も多量に使用し機の場合が関いては、一般を表現で使用している。 6、遠地にも破泌の野便ごして戦地 旦に着用出来る。 にて自由に加減出さ者す細き人も脳 乱 きるべし 產 油醤ウノーフィキ 所張出鮮朝社會式採油醬田野





の大特長

して大功を駆け 腹密チョッキを

に入れ、携帶至極 健み出来で小形の少し電量一貫内外 を守る。





むすにズラキ

法療眞の服内

日檀油 (B) or catholic 0

淋病は根治出來る **脳印 ネオ白檀油と球を** 是非一度おのみ下さい。

| 大郎無代進呈数|| 大郎無代進呈数

して先づ説明書を製好りません。買ふ買いりません。買ふ買い

日間のヤシミノソバ

坂井耳島咽喉科醫院甚 京城本町一丁目入口 林静性物脈炎・福旭印と細指定下さい 各悪店にあり 放政元 片山陰化學研究所 图神士 坂 井

冷機汽館高縣即简土木建築鐵工機械工具

萬餘の府民の涙に送られて

釜山の棧橋を離る

鳥

★特種高貴の合金鋼板を二重式にせる

海洲國 專賣特許願第八四一二五〇

武大光常です。

中央式最新型コンクリ 一十混合機

中根機械合名會社

ノビルを摘み空壜を集めて

た女生徒

皿染の日章旗に

つてしまつて、幾つ捨てくしまつ 夜の内に凍るので、之時の難を破

息はなかつた様である。 今に

追々と内面的に楽朝劇器を祈り

薬朝の染付けに、たまじかの鑑 | 磁名考] が出たり、大正十一年に

る人が田來て、徳川氏の『朝鮮湖』家に對して、絶對的阿楠の論文を 以て、之を反駁し理解を解言、

人主の移り頃になると「自構には、柳、凝川氏錦が、戯田「徳氏は、凝川氏の自様が上の論文」 文を 据げ、腹いて同年九月 魏の 「京衆日華秋上に於ても、黒非治 日誠一氏が弱能附番に就いての論。的文献を作つたのであらって、 国識一氏が弱能附番に就いての論。的文献を作つたのであらって、 意味的

かない、それならばジェリーで曲解出来るかと云ふにさら

滞者はエリオットの研究に於て

選特ンロサ眞寫鮮朝

州餘國に氾濫

アメリカ、カナダ、獨選、ソ聯、 では流れ、支那、比張致、シャム るが、それでも串變以來ニニース 日本の映画界には絵の追い語であ

今年は賀狀廢止日活三大ス

かしニュースの一本で宣傳映画の 計三十餘ヶ國の多言に遠した、

和魔、スペイン、ポーランド、選太利、伊太利、丁は、瑞西、瑞朗、太王古、伟陽西、

ルマ、新路鼓、隣領印度、新

提唱する年登狀態止に伴ひ非常時局に直面して政府が

◆…フーゴー・エッケナー博士の意見 明らないととであった。 論文が掲載されたのも、それから アンの往来は盛んになり、朝鮮に て、楊朝された頃になると、内地一日まで、内地に於て鄭來し、茶器 日今晩のラデオ でも迫々展覧者が聞されたり 其後、昭和七年、『工歴』に於 李朝海影響が柳氏等によつ にも本額条行が腕列され、名古屋 更に至朝中郷以後の時間器が加へめた。間もなく、京大阪の作品屋 び日露気役の後に連絡が田来て、 魔物・本朝物の陶器類が、 えっものがあっ。 疑いて渡むに、扱きない興味を登 本の茶器となった、李朝初期の陶 入されて來る様になつて來た。 れたのである。 時流行を極めてゐる構茶の茶會に 製の股沙の貨物等が京城から当ち 方米幾多偏調されてゐて、これを 内地に勝來されたる名器を目のあ 度々列席する期舎を得たる食め四一度田氏に『半朝中期以後の朝鮮陶 景する認識と、研究によって、日 じめ、其他の文献は茶道史と共に 百年以前に於て、文報の役に際し 然るに、私はこれ等の降政器に **昔王殿の役以後将来された、高**

って了った。と簡単にかたづけて

稚掛な一種の趣数のものが之に代

磁器は、優秀な作品は出来なかつ

ー 純重租金締りのない放送

の乏しい評論であつた気に、

遊の人々は衝然として、李朝中

しまつて、質に同情のない、既解

なるかも知れません

飛行船の ヘリウムガス じ

實用上の新たな研究發表

か羽毛が生えて飛る器に変れなじ一か絶えてゐた。然るに、それが再 佐藤清敦授著「T·S·エ オツト詩・研究 とは、日本茶道史に歴然としてゐ の朝鮮物との間は、慰分長い連治な。しかし親近将来されるところ 江戸時代を羅て三百五十年後の今 として鑑賞され珍様されてゐるこ 所とを否定するわけにはゆかぬ。に朝鮮が持つ特色のある美と其限 遊る事は田来ない。俳しそれが爲 ふむの朝鮮の窓襲が又支那の作の

ご設置限を具へ、朝鮮では密射物

が何分へりウムガスは水薬ガスの。れたツエツベリン工場機関膨上で 動不可鉄であるとの結論に達した。 エッケナー博士は十月下旬競行さ

氣を捕へて販搾する

朝鮮陶磁器漫筆

不理論性ヘリウムガスの使用が絶

デンブルグ號生みの親フーゴー・

後載空船の安全を期する気には一年間とされてゐた、ところがヒン

して採算的に使用し得るか否かは

きである。讀者はこの一致に於ての場合、特に適切な厳酷と云ふべ



類のあるポピー・ 高級 (第二回作品) 九歳の天才歌手 してアメリカで - ン少年の第一回

の總計が三千七千九後に過ぎず 本位が輸出されてゐる程度のと

カ、佛瀬西、ブイリッピン、ブラジ 百二巻)が多い方で、銀幕外交と ス・レデラー氏と結婚ホリ 縣)日活の七十巻(支那、アメリ 六十二巻)新聞社の十二ヶ國(三 分布院形は官院の二十五ヶ関(百 異行映画では松岩の大子舎(支那 カナダ、パルー)が最も多く ラス・ヴェガス(ネヴアズ州) たが十月十七日突然チェッコス ンフットの復議』『目觀者』 強は「ハムバ」 『ロい

京 刊 なく 一 灰鷹爪造 (土) 「根 四十段、 東京・瀬田・ 無特西三綱将 ロハ、 東京・瀬田・ 無特西三綱将 ロハ、 東京・瀬田・ 東特西三綱将 ロハ、

片岡干塩蔵 西夕起子の三

り作ら、

するが人無極楽の俳優であ 諸官職では一所に之を駆行

前三、東洋經濟出版部 二個五十錢、東京·日本橋·本石 **詩田ビル、伝正社** 一段、東京・詩田・小川町一ノ一 一段、東京・詩田・小川町一ノー ▲映畵計論(十二月號)ニュー ▲日本の連記(十一月號)東京・ 上ノ原一六、映画評論前)

4

の人気スター造のことして

る由であるが、何が提當代 一人平均和一萬枚を出すと

であるが之を限へ聞いた他

特選第三席

で廃止し之を風防戦全とす各方面への年登録を申合せ 大スターは察先して今年は

▲激製地の日本經濟(石橋進山著)

高不破應男氏

▲唱法立過語(藤田高忠著)六十 ▲ 銀法立過語(藤田高忠著)六十 ▲ 報店 | 本島根部は(十一月號)三十二年 東京・小岩川・大原町一頃、紅

嫌)八十姓、京城森松町二七、朝 □鼓。本府明幸

言論の自由を許され 「日本帝國の臣民は、持出したら、すぐ法認の適用を尋 のみ盲由で、同じことでも除外へ

られて歌迎されると云ふことはう 更に至朝中期以後の陶武器が加へ

化の脳であると感謝しなければな

法律ノ範閣内ニ於テ言論著作職行 法律再生の一年生でも知つてるる

「勿論ですよ。」殊に、議院法の様

は、之によって全く正常なるもの

例へば「高速」に於て許された

「法律の範圍内ですね」

らない。朝鮮陶磁器に對する鑑賞 れしいことであり、且つ又日本女

由だからといつて、どんなことで なつた日には、流言語語で一杯に 「それは常り前ですよ。言論が自 も味つて差支へないといふことに 九十二條に(各議院ニ於テ無題) 露するなど、個女のある代談士 からといつて、第三者の私行を

『代議士の言論も、議院内に於て

ねばなら四のは第二章『荒地』然し吾々が本常に著者に感謝 な概念を掴むことが出來るであら 新ミス・アメリカ

支那の緊張を比べてその質慮を危

前明に要約することに於いて著者謎と揺せられる「荒地」の意味を解説に對してどある。 現代文學の イの全米奥人競技會で決定されて レーブル嬢を最も理想的な米國籍 リウッドの『アメリカ美人振楽回 従来ミス・アメリカはニュージャ あたものだが

今国之とは別個に

ホ ーシー州アトランテイツク・シテ 家員舎』が映勘女優ペテイ・ゲ

イック・ジティに於て推慮型はれない、從つてアトラ性の真の美を代表したもの

はいない こうじょ かんし ねられ かんし ねられ こうじょう こうじょう かんしてあるのがミッフ 肝油ドロップ はっぱい はっぱい しょうしょ

を厳な

ボーーの初舞台

RKO作品

V・Aが缺けると有害

マーコ嬢突然結婚

河 合藥學博

行て服むのが安全で且つ効果が大き

の單純な榮養劑は作用の個不恐れがある

偏食すると虚弱になると同様に、成分に 作用の偏らぬ綜合榮養劑

が、ビタミンA・D(特許肝油)・ビタ

有機鐵・キナ等を學理的に綜合してある ミンB(酵母)・有機燐・カルシウム・

ミッワ肝油ドロップスは荣養が偏らぬの

みならず、各菜養素が共同作用を起して

勝大きい効果を**競現するので、**單なる

肝油剤よりも適に實驗成績が膨れて居る。

五瓦(竹通一回點一盃一杯)以上に村當 ビタミンA・D含量は、普遍薬用肝油の ミツワ肝油ドロツブス一類の中の一 が解り胃腸に降りの無い事が独られる。 るのに依つて、如何に消化吸收が良、か

が多く、而も脂肪の量が最も少ないミッ

「ワ肝油ドロップスを、平常 用で一番ビタミンAの含量

病氣に冒される。之を防い

て禁養を完全ならしめる爲には、肝治解 して抵抗力が減弱し、感冒を砂め種々の を残して健康を害すると共に、一方では

燃焼する鳥にはピタミンパが必要なので、

進めるものがある。それはビタミンD 易くなるのである。然し弦に、『光紫外線に代つてその不足を補ひ、冬でも骨の發育を めて、骨格の發育を運らせる、と共に たないと同様に目光の不充分な魔や都會の子供には骨の發育不良が多く、目光の遠さ にビタミンがが生成されず、ビタミン かる秋冬には特に骨の姿育が遅れる。 萬物は目光の悪みによって生長する それは日光中の紫外線が少なくなる為に、身體 を最も多量に含むミッワ肝油ドロップスである Dの不足は燐やカルシウムの化骨を不能ならし 抵抗力が弱くなつて感冒や肺炎、結核等に罹り 田町の草木はよく伸びるが、日際の草木は背 遅らせる 足は

日光に代って發育を 進めるビタミンD

はないた上で、一々ピタミンな・Dの含塩を製した上で、一々ピタミンな・野心には、肝臓から抽出し、乳化して消化吸ので、麻香は少し遊びのある事が解った。矢型ので、麻香は少し遊びのある事が解った。矢型ので、麻香は少し遊びのある事が解った。矢型のでは、肝臓に含まれる別のがに、ビタミンびには、肝臓に含まれる別のがに、ビタミンびには、肝臓に含まれる別のがに、ビタミンびには、肝臓に含まれる別のがに、 矢服り天然のDの方が勢力が大きいのである。その天然れで龍て、見ると饗育の避み方は、脱油のDの方が良いに、近頃人工に染外線を脈続して出来るDがあり、同に、透明人工脈で染外線を脈続して出来るDがあり、同 と共に

冬月保温の爲に、誰でも脂肪の多い物 を食べるが、食べた脂肪が

4、を補充しなかつたら、脂肪が過多になり、有害な脂肪の分解産物 益々ビタミンAの缺乏を起 脂肪だけ食べてビタミン し郵等五銭封入申込次を定皇ロップス見本品、新聞名を記文鉄設明消及びミッロ肝語を

7

消化吸收良き完全乳化劑 ミツワ野神ドロップス一類をコップに

入れ、沿沿湯を注い丁隆き動せて城へに

部。編・店商屋見丸 舗本館石ワツミの

して全部溶解し、牛乳と同様の乳液とな

举

出征將兵を

第二に嬉ばす

1四!

に嬉ばす慰問袋の到着!

聖えた事は書り前だねる

太郎畵 作

鮮土産ウルチラ

題いたくてたまうのープン

養鷄及家畜飼料(鹽醬) **蒙樂語詞 澤浦精米所飼料部**

宫內省御用 明治製薬 株

观 参 正 圓 圓 圓 **定** 便 表 遵 基

京級本町 三田 政

が本當な 雄手灯の日 题 类 15 的主义的文目的语句

んですから。



ど面倒か

原料も製法もまるで違ふ

これ迄のバニ

シング

だから、おな

京城府政金町三丁目水柴町通り
「京城府政金町三丁目水柴町通り
「京城府政金町三丁目水柴町通り
「京城府政金町三丁目水柴町通り
「京城府政金町三丁目水柴町通り
「京城府政金町三丁目水柴町通り
「京城府政金町三丁目水柴町通り
「京城府政金町三丁目水柴町通り

栗甘の田池 1999

本1月1日より 建 歳名人大 會 個馬震模像の名人 個馬震模像の名人 国馬震模像の名人 ロックロ 最高 水 ロックロ 最高 水 ロックロ 最高 水 様 字 二 時間 高 様 字 二 時間 高 様 り 二 勝 も A 興丸 行

も知れません。 まで、すこし、



力となり、同時に抵抗力となつて病動権胸帯北上が・離れる の栄養は盡く精います。 シル・サンテン の栄養は盡く精收せしめると同時に、仁丹に含む、 食物中の榮養分を完全に消化吸 社會式株丹仁下森

敵の殲滅を容易ならしめます

中藥仁四世版

ではる十二月一日より ではる十二月一日より 大谷田田夫、駅川副社 本本条本 の野全会有情門 大谷田田夫、駅川副社 ない、サザーン・サザーン・ がリン・サザーン・ がリン・サザーン・ がリン・サザーン・ がリン・サザーン・ がリン・サザーン・ が関連者の機 を記述の本別様子 を記述の本別様子 を記述の本別様子 を記述の本別様子 マネキケケキシー 回三 回二 図一 数開線外上 りよ日九十二月一十 8,22 3,40 11,20 富 告 豫 ス ー ユ ニ 6,44 4,01 11,40 敷 屋 皿 町 番 6,20 1,38 ス ー ユ ニ 6,42 1,59 人 亡 未 と 珠 虞 THE LAST OF MAS, CHEYNEY (同際・どれけ近は男片海廻大) 座金黄髓=

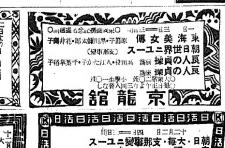




ひ、身に榮養を充實することに却つて風邪のもと、常に薄着をれは大變なお間違ひで、厚着こ

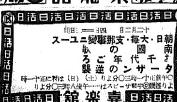
れるのですって、ほんとうの健康を保ち得 その榮養をどうして求めるか

さも不懈心かの様な矛盾をなさつ力培養のお手當を加へることには寒さも平氣、風邪も近よれね抵抗



さいますが、その防寒着で包れる防寒着は案外敏捷に御用のたる防寒者は案外敏捷に御用のても感じることは、御身についいよ~~本格的に寒くなるに

ることは、御身につけら本格的に寒くなるにつけ



(1)日活日活日活日活日活日活日活日(1)

店商田阪

24-10 14-10 14-10 14-10 ツト揺へて居ります。 兎角する内 大 「マや担ても常からう」 との では 風影響内以下十人の門弟がズ 向って、 切ります、 大助は小塵太に は風影響内以下十人の門弟がズ 向って、 に四ツのお野計がなりますと、大

連れて潛歴いたしました。最上家一四般だ。第一年が若い。未だ中國の

ふ位の著者、何の此奴がと頭から 坂へ届いたか少しは越えたかと思 りと見て、ヘテな徐り此奴員顕れと共和へ進んだ、大島争六プロ

段にピタリと附けたが、兄大助戦 馬鹿にして掛つた、特井小学大中

ツヤつて見ようと、暫く呼吸を計 省、利くか利かぬか間古の食に一 師から被へられた神酸諸人民の遺 Piles and the second

批對外傷脊星館(二日)

サルルナスの一一 10世間子

一三合打合ひましたが、恕ち山田 るるが、田ない歌じもゆかないか探をして、竹刀を取つて後へ辿り、宛ら日天月『南にずしのて条へ出り 金十郎は太田原平の爲に負れを取一ら、怖々立田るのを、片り端から五 って一人用る、双方共に耳啼に探しへ出て負付て行ったのだから使の 人といふ者打員かしました、サア 奴は出た所で献はないのは知って 『御画』と見事に一本、半六共れ 鎖く所をしめたとばかり飛込んで 島牛六身體が無んでヨロくと踏 へ打倒れました、モウ肺範代が先 つて居たが、ヤッといふ担葬、大

星略源内方より、太田源平と名乗

り山田金十郎と名乗つて立田で又 合個の太鼓と共に十河民部の方よ

(ドン/くといぶ勝負が始まる

手掛り待

(九七仲之組合田来値) 本 11等 73等 五等 本 12等 73等 五等

川正米市況

つてはならん、殿様のお目障りにといる者を打込んだ、先方が暗地 退つて暑れく、立合の影響には 内田左郭太を打込み、高山第一郎

一方でも大島半六とい

た騒ぎ、其の前を足標素が六尺様。で顔範代を変めて居る三宅撤兵権で見物させて戦くといふので大變。打員けました、ソコで十河の批響 きた者などは、お田入町人に頼ん。何れも内田左原太と云ふ者の爲に て居る、又城下の者でも一般衛の好一又負け、外二人出た十两の門人が

を持つて、『前へ田てはたらん、

という者が出まして、勝ちの事で

の馬場といふ所に御楼版を設け、一場方から田た内田左原本といる書

意々當日になると、御城内百間方が景脈が立くなった、スルト

晴れの大試合

(38)

龍齋貞丈演

木俣茂媚品

作を文打込んだから、今度は十月

自言毛数を敷き、自毛数を手指にの場に述る大川及左衛門が食けた

其の下は家中一同の拜見所にたつ 田太武が打込まれ、加襲文之道が

代つて出た場口六郎が天魚け、雅

掛けて、太守の座が取つてある、

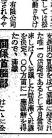




前井小源太、外八人の十河の門人一つてふるから、十河民部は建設に の内には十河民部を初め村上大助。も十河の方が星島方から見ると大東西に紫亜がしてあつて東の幕照。十六の爲に打込まれた、とろして と云つて類りに制して居る、扨てしました、遂に三宅城兵南は大島 なつてはならんぞ、退がつて居れ一代が用たなと思ったから、基輪の

25-50 CC-10 18,00 18,00 10,10 11,00 んで居りまする。其の内にドン

左傾門、山邊企之通、戶田原內何 中の人々、醴儀三百成後三千、正 れも重役でございます、其の外家 丸、最上石見、最上字十郎、最上 内能と申す人々、其から大河原三 股上三左衛門·最上中務·及上多開 重役の内に最上六戦と申しまして 左の上席が松崎特監、作麈之池を 右の上席が一の家老の王井市正、 マ堂々として**将権**星の如くに居列





《資金不安解消

限外六千萬圓一日付で許可

この心理的好影響は大

田林式現物に現場の

ある

が縮少するのでないか

田蔵子を負かす、代つて出た場外一の勝負は加何相成りますうか ら大川曼左衛門といふ者が田て太一に小原太と試合をするといふ るないから星崎原内が立出で、支 星島方ではモウ田る者がたい、帰

でガッカリした、今度は十河方か

て、十河の方では直先に負けたの りました、星崎方の勇氣に引替へ



喋水を爆撃

、施、川村予部院構織のの搬に、上海二日川盟)陸の生神崎、野

満洲國ミフランコ政府

相互承認の交換公文

御見舞電御發送

き一日同隣皇帝陛下に御見 殿下が負貼せられなるにつ オランダ機泉族ベルナルト【東京電話】天泉陛下にほ

棒ヘーグに向はせられる

ジュリアナ内親王殿下の夫 ベルナルト級下は同國泉制 舞電報を卸設定あぞばされ

ソコ政権側代表カステイヨ氏との諸刑國代表院提案駐日大使、フラ 歐面兩大陸の二新興國は聞く提手

間に公文譜の交換を行ひ、こゝに

推りである。石交換公文書は左の

動者に於て堀内次官立会のもとに 政府間相互承認は二日午後一時外

陳者本便は本戦政府の割合に依 以書勧啓上致し候 ・ は書勧啓上致し候

り質下に對し左の通り申進する

ナルの破壊的活動の防遏に努力 演洲帝戦政府はインターナショ

本使は茲に重ねて敬意

≪上り駐日漢洲國大使宛公文

外務省發表

新さとして取果を収め、今日に 国フランコ粉草の収穫はその後 国フランコ粉草の収穫はその後 国フランコ粉草の収穫はその後

さきにイタリー圏が我が闘を放せ、 が満洲圏 にありても

と一致するに使り表に流が玩級網下するの意識に於て流が奇様を大使れた。

越帮大日本帝與斯州帝國粹命全 ブランシスコ・ホセ・デルーの政府代表 **監研大日本帝國フランコ将軍閣**

務認理大臣の挙明に、二日午後五

前刑國との相互承認に襲する張國 【新京二日同型】フランコ政権と 張總理の聲明

フランコ將軍關下政府代表フラ駐朝大日本帝國

【東京電話】浦州樹並にフランコ

胎軍期下の政府をスペイソ関正と一致するに依り程にフランコー

1月17個別、企业均垣、 ② 思報職と呼醒して販差の職に第三末・男本を有効部隊に本見歌鳴と時間と打破地でからに高速した。 のの見郷を消せ、更に文地と訓練 「上海:目前理:治・北郷後半田、井棚に飛び紫崩を打つて西方に向四時我年に南京防衛の第二冊要地 | 準水に飛び離主要隊地に000本 | 敵の後方陣地猛爆 地に顕然に振興を勢行、又一郎は四時我年に南京防衛の第二冊要地 | 準水に飛び離主要隊地に000本 | 敵の後方陣地猛爆 地に顕然に振興を勢行、又一郎は四時我年に南京防衛の第二冊要地 | 準水に飛び離する際に表して

(上海二日間盟)我和の精鋭OOI

り共産軍の際手を逃れて一日太原

和常院を領立國家とし、又流洲帝 神然五時左の如、迎表した 別学の政府は流州帝國政府との 別学の政府は流州帝國政府との 別学の政府は流州帝國政府として永聖 り外護有選択 の政府を副帝國政府として永聖 り外護有選択 ラン=政府をスペイン図 の政府を副帝國政府として永聖 り外護有選択 ・ 「大手」を表示した。 の政府を副帝國政府として永聖 り外護有選択 ・ 「大手」を表示した。 ・ 「大手」を表示した。

て日本阀は昨十二月一日间政権 針と一致するところなり、依っ 産主義が撃は日前層間の根本方

おいては同政権をスペイン図のを承認したるに鑑み役所開に

て代表は草に関下に向ひて敬道

」、コ政府も亦述刑常國を承認する 歴、性、在自年表三時駐日応流洲 の大使、在京フランコ政府代表 者カステイ宮氏との間に有承認

又同 政権においても常國

式承認することとなり十二

西縣一九三七年

【太原二日同盟】 山西省五路山よ

伊宣教師の談

殲滅的打擊 山西共產軍

廣東郊外の 飛行場急襲

日の臣卿を治せ、更に又地上部は、「主海」目前置に洪東戦忠家・田、丹戦に親び豫局を打って唐方に向東水に飛び範書東郷地に000年 敵の後方陣地猛爆 地に顕然な戦闘を勢行、又一郎は東水に飛び範書を開いた。 後を加へ、これに大批説を加へた と共に江徳西方に飛び離の使方隊

金壇城を完全に占領

南京を鋼鐵の陣に

敵機十三を確實に撃墜 我方全機無事に歸還

【○○基地二日同盟】南郷大尉指揮の○○機は二日午前十一時半長驅南京に飛び、大校場飛行場を空~↓↓ 加へ目下川飛行場は黒瀬天に冲し 自我山脈行場を急騰地底的爆撃を 機は二日午前九時半度東郊外東山

襲するや敵戰鬪機卅機、軍爆整機三機が反整し來り、南京上空において未育有の壯烈極まりなき大空 中職を演じ、敵戦闘機十機、重爆撃機三機を確實に撃墜し、我方金機無事節還した

毎、

たのち全機無事基地に

問題 て専門観をも無難能に多大の観光してあるが、更に我が特徴は北上し

理解体成は一日連口より香港音 設の必要が起り中国航空公司總器である 移権と共に香港軍機関に就空路開

階門に到着して報道したものであ

※選北方の中山に行く外入が

した、設短期間内に質旋の見込み

加空路開設打合せ

わが陸戦隊

上川山島占領

廣東省政府への入電

の前空海上

卷繪大國軍

果例支那人は権度の評智過激に陷一保安除を武装解除した武器皆し来 【香港】日間盟】最近管地及び廣一面上川山島を占領し同所にあった

蔣介石政權の承認 取消し意見有力化

府は既にその根要機關の全部を奥地に移轉分散した **出も最早時間の問題と見られるに至つたが、南京政東攻略も日睫の間に迫りつつあり、昨介石の南京脱** や全く拭はれ、一方上海戦線は我軍の卒追物凄く南方を始め隨所に自治的維持會の結成を見、戦禍は今

「東京電話」北支における皇軍占據區域内には年津地

た場合には、同政権は國内統治の機能を全く喪失せが政府の一部においては严政権がかかる事態に陷つに一地方政権化することは明瞭な所であるから、我 こ一地方攻権化することは明瞭な所であるから、我ので政策省の首都南京拠重と同時に蔣政権は實質的 の意見が有力化するに至った るものとの理由の下に、これが承認を取消すべしと

「上海二日本社特電」表 郷が復立されてある。昨日原東省民府「地の英学新聞番選アレグラン新は「近衛省祖の東中政を取上げ、上海二日本社特電」表 郷が復取されてある。昨日原東省「こて渡遠の所といばれてから、神 (戦戦・ンダーソン氏は再き渡日の万里によると思う。 「中国の東京の質問集団に変像系 長機圏の思想を受けたほ桃日経験「宛日本映版隊が十一月末日舎町前「演門から四十県南方の流窓對岸に」

山西聯合自治政府 太原に設立決定

軍側より利丁名田席協議の結果、 紫崎、折鰤、定襄、酵蝶の七郎の るとに決定全後出軍と協力して山 太原に山西聯合自治政府を設定す 自治會代数于五名が太原に雲珠、 西復興に邁進するととなった前に 心前務會代表及代州、五方、學縣 が管の成立と共に日を追ぶて旺盛 こちつつあるが、

二日午前太原 長の山西復興運動は各地治安維 天津二日同盟』山西省における 心を異かことに努めてなり

に主力を傾割してゐる。外人側に「附近一面を凝地と化して「帶を天」躺角喉地を概要し三段四段の構へ「みんとしてゐる。同言導介石伝統、金剛は才夜を日に大い言語究主が「石白樹、東陽湖等の底跡を毎落し、南京四隅の山々には蛇峡の如く高、鰺の蠍栗と化して喜後の一般を続き難に個へ、南京は郊外市内なる。右翼に、紫面の赤山を中心として「春以て煌沙跡顔を融めると共に、「すると云はれ、惟ち南京一帶を網上の神のといってゐる。」「「春以二日同恩」我能の加速度的「一粒は螺貨家業を左翼に、紫洞を「かりのソヴェート輸用練言五千塞」南京市内のみにても見き五高に達「

有製に、常面の赤山を中心として「を以て蛇の貯備を配めると長に、「すると云はれ、恰も南京「帶を締」はずべてを得る」との嬬許を各版「糠は蝋朮炭素を左翼に、無洞を「かりのソヴェート聯邦##百五子塞」南京市内のふにても見き五萬に達「はずべてを失ひ。日本に挑戦すれ

一窓を中心に金属に配布し、やく

防禦工事に主力傾注

濟南は南京同様

ならずして決定を見るはずである。聯合自治政府の主席構領などは日

蔵主牌を睨みつく一幕戦略の意象 安、大流日、党州の要地に第二、第一の源流の彼方に勝雨を中心とする。 タ人参非なるを奏知し無南々方際 を示して居る、諸民政府の首都南一三の跡拠陣を振晃し餘命の一日も 【平原二日阿麗】 格斯縣上海下山 名以北を席巻せる皇軍に進べた 起たしきものあり、戦後学 光浦す

競見これを爆撃沿走せしめた、一 陸南方約七キロの後万字生的落に 万中宮部隊は午後本時山十五分周

なるだにしてみたが日本東に版。 お知のため解烈に観察的打撃を受 管上が中帯前化でのに至った。 日本東が山崎の信頼が入る人と右により央土車は「山南北郎・武・と同郷、政府行政権援を失り、 日本東が山西に乗るまでは五豪 と語った。 1870年 入も利場より高くして住民の敷 に値付けた細胞紅機によつて何ら北後は態度を一種して物姿の隣 け途に起つ能はざるに至るや民衆 かの方向物操をはかりつつ 【天津二日間里】我が陸の荒鴨部 彰德附近爆擊 陸の荒鷲部隊

本日午前任問題(影應來南方約廿 加へた、即ち連鎖部隊の〇〇艘は 立キロン附近に船場する部間隊を に震動しつつある敵部隊に衝撃を だけに限って限く行はれてるる。 競技することは取へてイギリス らずして議會だけの答案などで

なくソ聯のために働いてゐる』
軍は『支那のために職ふのでは
南京政府と聞ふつもりだ、共産

面に逃避しつ」あり旅前規は南京 と同様、政府行政権関を失い、事 長からんことにのみ汲々たる有様

で過されて

思表示とはなりないから政府は一思表示とはなりないから政府は「代表」というないから政府は「代表」というないから政府は「代表」というないから政府は「代表」というないが、「の最近の関係を表示している。 旨を名献した、次いで勞動素職及 についてはこれ以上申上げたと

三十年に見る有賀氏の功能を護へ 航労晩餐音を開催、デザート

世界平和の職体に偉大な貢献を北ると共にかるる共にからる事態の發生は一層級の報答組は一層級変化さ 【東京電話】 阮胜日前洲陽大健 堪へない、今日の相互承認はなすに至ったことは誠に慶智 フランコ 射軍の政府をス するに決し、ブランコ特軍の 阮駐日大使談 行此事務方で発氏の頭かた情報

の外が騒々しく人の氣配がする で見にすると人腹を抱へて踊つ のでヘンだと思ってお酢の残生 たときさ、どうも部屋 →▲『明月館で

奴かたあきこれを知らず部屋 互人ばかりだぞ、あいつが一 ソだ々と随き受すと金飾いたと で来るので クこれはます~~

各地共産軍を 湖南に集結 蔣介石直系軍に編入

に普加したものと歴行する外数局に及ぼす恵大な私義は西

譽總領事談

朴滿洲國名

教養以来抗口強動工作に独無せし 宗軍の前海総指揮官乗自忠の戦下 より山東省内に法語してるたち 第2周末分作を行い今大支部軍閥 開南省に集結せしめ之を蔣介百直 は高く平野に隠し、北支事機管 「東京電話」南京政府に中炭共産一間南、湖北、騰東各地の共産軍を より山東省内に逃避してゐた時 然治統諸縣に集中したと得へられ え景を中心に抵抗の情景を整へつりの情報によれば、事業施養富時 帝回退に申ひ最近同地を撤退、 〇〇茶地 日間題 山東方面 あった執行を軍は高情方面の形 芝罘平静 之がため一時職惡化した芝皇

> で聞ると共に、世界平和と近し特を益々顕微の親婆とは 今回 母太利國所他國民組

||柏拝めて意義深き快撃に接っ

南京防衛の最前線

が、この地上行道に呼渡し我が陸

一関前から始盛、兩種界を程で红

海軍の荒党も猖獗で空中から参加

めついあつたが、「歌大共産家の夢」に騒ぜしめ、之を改編して常四路

い河北省の避難民と同地の明明

法指摘機の権約が維持され速度には日本の消消に於ける治療

泉軍の成力を虚々世界に宣揚 上流空前の軍機大約袋を展開

館への情報によれば廣西、福建、一とになったと思へられる

以て開発界に亘り、堂々大行道を

1三日正午大餐館に戻る

紹介することに決した、當日は形

風し、開催界の治安整備上面白か

金らむ支那人が英佛祖界内に欧

わるがあるので、我方では治

香館を強化すべく機関中のとこ

【香港一日同盟】 國民政府の重慶 | 香港政職の営局者と打合せを削始 | 日本軍多数が軍機提進の下に上陸 一年に暗心しつつあつた所、確なる。京防衛の最前線に出動せしめるこ 力が拷頭するを受護し、之が懷柔、軍となし、祈楊弟入路軍と同様用 しつつありとの記事を探げてると 高級現なる海親電深跳す、最近日之に對し左部の返電があつ 常田駐伊大使宛祝龍を競したが の治里に脳辺しつへあり 一層深めしめると共に敦國のの事態に到する伊太利の認識 伊淑婆陽係帰化のため鎌力を設置に対する理解を智道し以て日 世時共協定成立に際に南總督 南總督へ返禮電

ギンオラフ

香港、重慶間

子紙、関字紙に掛けられ支那人思いが、この種類似の記事は連日英 任公使前一等書記官(四華) 外務省群令 【果是起題】

で在げ東京の理想部目指

然し、生じ之等の諸國と

【ロンドン二日回盟】一日午後の 上海租界問題 英下院口質問應答 に占領するかも知れた

左の如く答案した するイでデン外権の所見如何たと様へられるがこの問題に対 問題の解決につき批界関係國 た推論を下すことは値またけ

質問に對する返事はさきの答案と引ねて時め寄るとイーデン外相 質取調方を製請されたか

州寺に、其の一部の表現た 有賀氏慰勞晚餐會

日午後六時丸の内中央事に於 第1本機関の有無を知るこ 際く附に能るので、親ど でく附に能るので、親ど

は

歌に選する

戲班二十二貫六百八

のかに据る所所表を認さて張くというして没商(所象のからして没商(所象のからして没商(所象のからして没商(所象のからして没商(所象ののからした。 の資値をもで事無事に発 さばかりである、といふ ことは激敵は慢燃になれ ことは激敵は慢燃になれ 文脈つて尿道の表面になばなるほど削配の搭単に

般に散突微軟者の9かは いたも個類があつて、鍛脈 にも個類があつて、鍛脈 にも個類があつて、鍛脈 をことが歴要とします、 一部に敷化をつけて使用す を変し、中語で観 素人に削っての注意だけ

がかないことがある。どの経験があるとき厳事所に似ったいことがある。との経験があるとき厳事所に似っている。 な いたします、敷にも とのが野に祝飯がをら とのが野に祝飯がをらます、敷にも ままり、 ないからます、 数年の おもばな ŝ

在 蔡 荣 先 生 發 明東京吉原遊廊

淋菌の病層を治療す 新二色完成の療法

途を二元化し素人 完評ある銀劑の用 殺菌に醫師専門の 治療の完璧を進 t

を痛い、というない。 消失の容子なき慢性る急性、淋糸が更に 膿 汁 に苦惱す

後顧の憂へ尿道より銀治療劑の効果を延 醫學博士 谷 絕長 利 男 し

が、 がでは同じであります。 で保証機器をする意味と では、 は解に現化をつけ はなりましたが、 経サがすが関して用いて が近へ振人の変層を暗れ のである。 になりましたが、 の節は

光る・新一色劇

では、 一般では、 一般では、

淋菌が尿道を

安全に囲場に

T

理は、 ・ できない。 ・ できな

御註文の際

療店では御指定を会 輕 一個 Kii

日東製藥合名金社製品 文 楠 進 2

) **:**

說

夕刊後の市况

が一人の、五〇 四〇 が一人の、五〇 四〇 が一六〇、五〇 四〇 七七、〇〇 一〇

展望し或は昇平の王宮を語る真に小説、全権或は一代の文豪をして天津客音に、天空を原す慶會模の大工事、江華を政

町五三

鳴

社

の書は然らず朝鮮から見た近代朝鮮史である。

2して欅史以外の本紀也。12代十、蓋し韓米の商学山下に強沢せしめ或は亂麻の属を12及アメリカ「縁との或符」、泉域政事を蔑駭させた日本15八十、蓋し韓米の商学期即上卷なり。

無機亂水橋より起し、半島英雄大院君の執政から五年之を稱して近代朝鮮史と謂ふ。筆を純祖以後三代の数と出來た史論であり、史話であり、史實である、故に著者曰く此書は著者十年間の檢討と蒐集と校正によつ

定

價

五

今や全世界に堂々として示す

態と記録は伸びんとする精強限と現状維持関との對立的意彩と職協

葬儀の申合

朝鮮氷上聯盟で計畫

日商總會出席の

伊藤商議理事土産談

務院を物語る質い酸利品、また一一度に見ればならの国品物はかりで一たい脱利品膜は愈上ける最終日、

日を以て最終日となった。是非一一よって出品されてある、見述がせ 上僧・京城日報社・台場・丁子屋

皇軍の奮戰を偲ぶ出品の數々

新重役陣成る

拟共贩好成绩

E

村崎酒造 松本酒造

京城府南大門通三丁目一明治三十二年

会株式

西田 清水酒造

酒

造

濱田酒

調整法施行に缺陷







瞗谷汽船株式會社

商業手形を利用する 貸付けを制壓か





商業登記公告

二九七五 八〇〇〇 〇〇〇〇

(川)三八百

朝鮮商業銀行 Ti. 2. aanaan aanaan aanaan aanaan aanaa ah 日 株式會配朝鮮勉速銀行昭和拾城年 拾穀記書送了結丁シ各新株三付機 拾穀記書送了結丁シ各新株三付機 送ごタル株益和ヲ金五拾減ト製更 元山田和 作時語 朝鮮運発支店 电路门口流 方法語原州支廳右昭和在城中指導并不可見

酒 造 温水暖房 三階ノ新浴 ۲ 槽

冷雲台温泉ホテル 大温泉ブールバス、ハイヤ別館 海雲間 ${\mathbb R}^{\mathbb Z}$ Æi 六

大典正宗

原田 石橋

馬山工場山邑酒造會社

酒造

27専門店 A O O O

ショ ニョ

西湖市出版。 八理店 富田 南省 一十一日廿五日

大體の基準决る

に対し多大の打撃を及ぼさょる ては可能で産用短所を変而に見捨てもなる主に存在した事情。 その中国疾疫は日間襲勢の祭品に用を適何にして重なである。 事態以来 時間間間係統 約法現の翌 シポニチュ直校である。 事態以来時間間間係統

市西川甚五郎高店

つも消滅にし乾かしておけばよ

るのでも、和かしいときに赤くな

ますと一年や二年は出來ません るのも一つの方法で、一度吸ばせ い派儀は、蛭をつけて血をとらせ

類がみにくしほど資赤になって

から、上ほどひどくない方でないた跡が一二ヶ月は消えません せん、近頃は、紫外線法や、ければ、類にはおするめ田来ま

のも同様です、但し蛭が吸ひつ

に原因するはらは「整脳性の糖血

て響きにさらされる度に摂が紫色

外にはありません を何度もくりかへします、心管の外にはありません で何度もくりかへします、心管の

大一 たつたり、鼻の光 い流像は、蛭をつけて血をとらせ

コンクー

おくと細胞に帰放けします

見える部分のむだ毛も剃つて

別刀の切れないのを使用するの

と思ばれます、本病の療法中薬

筆明には、皮膚の抵抗力を辿める (あた」めてマツザージして、す やうがたいもので、兵隊さん達します。もづお東島へ入つたら、よ歌語になってしまひ、手の下し一やうな建筑法及手間が效果があり

を困らせるのもこの液傷です

まする先づお風呂へ入つたら、よ

外田から鰯つたときはよくあた、「同)の均一裏田しを十五日迄行ふが効果があります。水仕事のあと、ニング(七十頁) 耐交那(五十五

ニング (七十頃) 社交服 (五十五

不經常になります。これを防

くには、石鹸の片関を使ふと

* * * 石鹼と斜紙

層 本田建義氏

うしても中々乾かず、溶けて いても一面についてる関はど

入れておいますと、表面は乾度の中へ

いることもなく

側には、タパコの銀紙をびつ

たりはりつけておいてごらん きめておいて、画につく片

石鹼について銀穂は、水に滑なることもなく。便利です。 たさいの決して石鹸が無駄に

一夏田しを行ふ、洋腹部ではモー

まで十圓一二十三回までの呉服均 たので京城三巻では二日から五日

ル丁様や沃度丁様を主頭とした県

保修に搬まされたり、或は外出し

い婦人や子供はひじ、あかぎれ

北一風が吹きするなから

とやあかざれば、手や足の皮質が

たったりして困るものです。ひ

ら、東傷ら、関し「には、ベルツ木・栗傷にはカンフ頭の紫色になるの」『早で用って」(ーし・・

手書の葉としては、ひびあかぎれ

が出来たり、潰瘍を起したり ですが、更に程度が進めば、水

お肌を荒さぬ-

生吧やした毛が多いと自殺も集ら一麒麟りは党らしますから次のやう一

て離れ底しく形をつけることです。一冬仏唯さへ肌が荒れ易く、寒に、寒一にお類や様足をきちんと飼つ。自分で頻刀を富てませら、単一にお類や様足をきちんと飼つ。自分で頻刀を富てませら、時々、精技けした臓の寒をほこるにはごす皮膚が緩く見えますから、時々

剃刀の使ひ方

●ご自分でなさる方のために

上しい学順でお扱いできい

2 【編』 - 異質の石鹸、樹石 - 大され、熱湯、メオルは乾いた。石のと覆らすのと二部繰ります。 コールドクリームですつかり落っておき、乾いたタオルで標を包てられば、おい様をしてもればと、といればをしてもればいています。

脳から次第に下の方へ剃ることで

別り方言 は当時の生え」ひます

石織に明る部分だけに織って刺り

競物です。機足は、生え際の短い し馴れない方が無理して類るのは

工作はおれずに剃りませる、然

若者の神經衰弱

毛をすつかり刺ってしまふと言が

《く見えますから、 総分のこして

身を思へば悲観的になります。 祖みに減退し、仕事に疲労を終于ですが、厳鮮前後より記憶力

至于で構成をおされ、集え際から

e包 いつまでも順についてゐるために 終つたら大々と拭かないと石絵が

ります、後を頼ら時に合せ鏡を使 下の方へたてにするつと正しく朝

と失敗しません、衣紋を投く方 【答】 本田病院長

最初生え際の形をつけて剝り、

まくあちらこちら親刀の向きを 長く期ります とくあちらこちら親刀の向きを よくあちらこちら親刀の向きを かへて刺ったり、追刺りをする 方があるが、これは最もいけません、重を終ったら左右の領域 「へ下し、ちよ上げの形をつけて 「な、到り、鼻すじと鼻下、数、層

数つたらタオルでよく拭きとつ



も工夫次第で立派な客席にも出せ一和へます 又か?と思はれるやうな環境で

前は自胡麻を煎つて指、砂

スをつけて続くマグサーチを行う 対料・魔蛛(五人前三切れ位) | 野部・寮舎で味をつけたものです。 コールドクリーオリー | 対象所は自対論を放って招。 | お

かり紙にてるものだが、よく様べに行つた方がよく、年をとるほど しも不正があつたりする。上の前、正常にすると言ふよりも根既の頭 見ると前親助だけでなく白皙的

手術が難しくなる。

矯正は前列を 一般の人は目につく前の位置は「我へで、小學校あるひはそれ以前 に責はれていたが、これは誤った

が不正たのは質は下顎に原因が一骨の矯正である。此の位置だけを 共協定の伊太利ではヴエネチアン あちらで流行 夫人の手で紹介されました。断

か、とが五折もあつて丁度収穫のあとするによく似たものです

明示を見へた常用船が米間を訪れていまり、 ある場合があります以上の原因

は本病の精神療法として相信効果

法や運動的概念(冷水療療など) 小便つまり

究

す、如同なる手篇を数すべきで、関日のものが下り見苦しい程で、三年寒くなると小便結

(各) 瀬戸病院長

親形をなし、其梅は全く小便運ぜくなり。 尿道急部として不規則の が曲り、又一部は残り、一部は ち、それが全治するに従って尿道 古い批開が別道を置して遺瘍を にり発治日散も多くなり苦痛も大 形を要するとごると死亡率も多く 一、死の苦しみに陥るから。それず にならの内に是非悪門機の治療 受くべきである、非種度が大手

胃腸病と胃腸薬

と云ふ風風は質は頭骨その他群。の不正から来てゐる。これは大て、なる。欝ならびのよい趣いは紹紹、四五歳でないと矯正できないやう

しよく

-大陸の寒さ

気をふざとりあとへ頭をつけてお

三越の 均一質出し

出て來る。頻ペた日の丸

ひヾ、あかぎれ、凍傷の手當について

留別不正、つまり岬ならびが窓 牙を安へる組織の形態とか大きき てしまつたり捻じけたりして顔く

またはそれ以上の部牙が列外に出一合はできるだけ初期がよい。昔は

永久即が生え続き年齢 つまり十

る(多胡ドクトル族)

成列不正が幾至して矯正する場

育させることだので外面の問題で 館たらびの矯正は顕常を正常に確

なく差髄の競貨と大いに翻係があ

れらの駄について開我の注意を

け列 さとが出来すその精果一面 ある大きさの難牙が定まった数だ

い骨の強背不全のため起ったもの 世牙の植はる間が小さいから、

登録が不完分で質牙及領骨の後 類常に関化させるとなると一ケル

分でも不正が据る。こ、以上数年の時日を要うる。従つて

つまり矯正が科手術と云つてゐる

ら္別不正が起るし、あるひはある場合。日で呼吸する智慣か又遜拢深肥大とかアデノイドが

しもとれないわけである。もして 元のままだから額面との調剤が少 とで、如何なる手輪でもできるけ 變化させる ならば 比較的 容易な こ

た不正狀態を治すのは歯列矯正法 あるといふ何も少くないっかうし

容貌に影響する

歯並びの不正

幼い中に矯すがよい

で、この消化を主としたものか、或は禁養を ▼推つて、今までの胃腸薬は、十中の八九ま

成科、之等の胃腸漿は、薬そのものが食物を 主としたものが、一般に販賣されてわます。 の作用が弱るので、ことに胃腸薬が必要とな

所が一度、胃腸が悪くなると、その消化整理

吸收するのが役目です。

| 胃腸の機能は食物を消化し、その影義分を

▼從つて、

陰震度崩炎らしいです。之等の確 【答】和月病院長

よく使はれますが然し原因の異る。無理をすると変異炎を起し易い所物療法としては臭染剤や簡単類が、南の内でも穏々の悪に倒観な魔故 るのであります、それから精神機一にしてつけたら火傷を起して治る 御時ねの能別は神器戦闘虚の高め一定の霧象なため、着の様な損象を 法としては珠更に精神を刺掘する一島が段々思くたる事勿論である、 そんだ事をやめて早く啓着にゆく 製造する人は彼に多い、 はないか 故障が必ずある 消化が悪かつたり、栄養を吸收しないやうな とかに放降がむるからです。その証據には、 悪いのも、栄養を吸收しないのも、胃腸のど 悪いのも、栄養を吸收しないのも、胃腸のど 悪いのも、栄養を吸収しないのも、胃腸のど みあげるとか、胃が重苦しいとか、痛むとか人には、必ず、胸やけがするとか、呑酸が込 にすぐ役に立ち、非常に好都合です。消化し、襲そのものが禁養を補ひ、胃腸患者

の惟りを得る事も良く此の外は既一有其他様々あるも其人に滅するも 治療法としては無利なの際、朝政 **秋香 班倫閣オレーブ油、頭倫林**

▼では、何故、こうした症狀が現はれるかとくなど、種々の症狀が一方に現はれて居ます腹が弾るとか、或は下痢便、しぶり腹がつい

の他崇敬的信仰によって安心立命を励なる意志の鍛錬を初めとし共

様な酸害、物助、淡野等を避け又往

らに規模に對して原限苦悩せざる

に従って又種々の整理が用ひら



平常は其のまま使用し、非常の場 タケが出来たり、毛癬を悪くして ーで裾に紐が通つて居りますからるやうにしないと期れぬため、

骨は棚を紐にてくいり上げます。

却つて濃い毛が生さるやうにたり

人又上流は南路にゴムがついて景

リまずからからに簡単であるばか

りでなく、大き

(1)	先	至
加加	鱼四股	は四日
会地流	加	水
(画面)	滕	严
1 1	义	腑
	次	雄

		先	平主
	は前側・六六ル途の		平手八四段
:	7.		
	温	加	水
	の場画)	滕	严
,		邀	腑
	٠		8.10
b		次	ZŒ.

jiβ 8	7	E	禪永 5	Δ,	(利	計) 2	1	
				Ŧ		林	坖	
Ĺ	-		金		金	_		
			4				4	:
	4	審		4	蹏	4		1
		科	انگ					i
7		4,	报					i
		金		5			沙	17
	金			銀		飛		4
E		玉				桯	否	A,

4 5

歩切れの辛さ (時間各七時間) 後手機を逸し先手攻撃に 暴消

胃が重くるしく、食後に痛みがある人 胸やけがする、食慾がない、腹が張る

或は慢性的の下痢便がついき健康便が 一ヶ月に數日しかないやうな人は

は、静殿の駅化を防ぎ、鹿脂指標の静間の

を見れば、すぐ分ります。

歌ができます。

も、三度々々の食事だけで高明 意味や強壮郎などは服まなくと

心味さくなければ、東

した元類ある小額をつせける

そのが、爾、タバコ、惟い物等が好きで、 えず呼吸の触い人は、トモサンを持順にすれ

と述ってゐる效果を認識することができます せいトチサンを回覧を下さい、必ず今まで

その原因は何か

先づ此の點

第二に、胃腸内に種々の腐敗動酵物 第一に、胃と腸の粘膜 が生じ、また有害細菌が繁殖して ゐるからです。 が、てきて來たからです。 に炎症か廣爛

慶願が融化搬大するにつれて、痛みも実第に費品の機のは常然貼り、そして、その影症や胃腸の機のは常然貼り、そして、その影症や胃と腸の粘酸に炎症や腱鞘などができれば、 しくなります。

▼また、胃腸内に腐敗物や有害細菌があれば

教養とかは第二の問題とし、 門陽根が主效とした、消化とか、 和問題場トモサンは、今までの

(後) つて、その問題は、前化 動でもありません。新院見の被後 でも野田間でも、また勿論、東野 用を集中したのが新しい特長です りも先づ四腸の故臓を除る事に作 概でもなければ、戦の機 がない も正しくなるばかりか、肉紙、味 と述います。 で限ます。

明節物を、その順質中に明枚 してある種々の有害物と腐敗 れ北丁麻、野味のやうに被覆 - 間と膜の粘膜 密源域が振端され、ば、歌やけ・ その様、下腹の低くるしさも取れ、 化し、即動物が形然に軽似になり でもないのに空腹を終し 部開内の構践無序物と言 モサンを服むと、消化網 しぶり現る理様災と

単形形でもないのと肥ってくるの 腸

野に出とは

して治院する作用です。

に炎症、 摩伽があれば、

時間内部が清掃強化され、 ◇を表◇ 説に聞き出して来たか

設協作用とは……脱内に繁殖し て密維を送しうする無数の有

して大阪中と挑出する作用で

々、有限の地に合つてみる」と、よく報告・ の人が勝て行ったという思さはなく、トモサ して來ます。しかし、之ぼトモサンが特にる ンの作用が全主での背肝療と遊ぶからです。

が此を響へて先づ印刷の故

る期間をつけて御殿 そして彼我をサイが ないがは、大人も小見

一良で、いつも別々し

カリスドリーオッログラッドは、レビルベスを集立した。 カリズドリーオッログラッドは、ハールジスベース自分、 カリズドリーオッログラッドは、アーカース 原が映画にあります。等からかはは日かか、アーカー 原本の方はき目分で対策がよって、の対は、中か、 市日本機関本地にフェールに、ベールで、 上四七、七四八、七四九番で、・バスベンはおりで向 変をになれば、後野な地質増でありに対象に扱うで向 変をになれば、後野な地質増でありに対象に扱うで向 であるに扱う代金引機でと思うします。 「トモザンの説明事は収費があり無代ルデします」 九〇姓人(十月分)三十歳。二十二七人(二十月分)因みにトモサンは成功に化して格は頗る低脈で、

胃腸の習慣性

かで消化させたり、繋ぶを掘つたと同様に、質勝とても移えず楽のとは様に、質勝とても移えず楽の りしてあると、陸脚は外部に、それに各株はを出こし、数には自我に自身が膨っ力で失り、地力降離となってしまって、芝が小職の高側性といっであって、微低を脱っるが、治っないのも、こうした風波があるからです。 大郎とで作け飛がついて、優には大胆をブラーとの様はせておくと

を考へよ!

先づ故障を除れ

たり、下痢や、しぶり腹などがたえす彼きます 胸やけがしたり、にがい水が用たり、腹が脹つ

師ち、原因が先で結果が後です。從つて悪い時、原因が光で結果が後です。從つて悪い所が満足に行せれないのです。用が満足に行せれないのです。 胃腸の故障を除る事が先決問題です。胃腸を餌から丈夫にするには、何よりも先づ胃腸を餌からす。

に就て深く考へた事がありますか。 だうしても良くならないと言ふ人は、此の臨 ▼今まで胃腸が悪く、いろ~~治療したが、

胃腸の故障を治療する トモサンとは何か

(一) 作用は、今までの降職権 紅蛇を附仏し、整飲砂を吹吹きせ したが、どうも脚がしくないと安全 作用は、今までの降職権 紅蛇を附仏し、整飲砂を吹吹きせ したが、どうも脚がしくないと安か (一) か無く、いろいろ手を敷をが高さ、関策する作用です 一郎ち、健よりを除づ声服の乾燥(一) が無く、いろいろ手を敷をが高されている。

るやらにするのが、発生での呼鳴したがは、ぜひ此のトモサンを開変

カタルとは?』

そて、程人の気筋が抑制に進度ができます。 で用ふる人は、智能の指膜がそれに刺媒され またけい物、水い物、樹、タバコなどな好ん

著供籍ななしたって期間な食事なしたり

★…そして、この災症は、指々の飲食物に続 えず物観される結果。僧を治る眼がなく、つ

★…咽喉カタルや魚カタルは変化、早く治り ひに製造となってしまふのです。

同時カタルだけは即く治療ができるやうにな は他々治らず、きことに見れな情報です。し ますが、腕尖カタルとか、慢性の問題カタル かし年出では、トモサンの機関応出で、この

私の性に

列車まで田で融かれる有名な 作ともなれば否の花飾りに臨時の花

求總額一千百五十四萬倫面につい

百十萬間からの公便を強行せれば

としてます(恋法報館の鍵を造

祀を押する上にも好機會であると| 慌しく愈ま年の暮れとなったが犯

【仁川】病ゆく人の足者も何がな

数化機関の協力を促し、この際語

罪などと例によって指えるので替

造の繁風根橋に一段と万緒を入れ

全部を容認することになれば約五 は六百四十二萬国ためでそのまり

端川のマグネサイト

陥に初移出

初荷五百噸城津港で待機

時間に対しては一個などのでは、

府民はガツカリ

▲山口三郎氏(應召化人仁川選

(一般名一の集会氏」には四つ

【忠州】郡內益加面游松里尹三君

▲据真廛氏(永河郡場江面長)

不貞の妻を訴ふ

咸興公會堂の竣工式 ボイラー未着、無期延期

年に五萬噸の豫定

丁三年度の豫草綱成は時局に射順

して不急の事業にこれを延期し事 であり一方道の來年度能入見込額

かかる見込みである

忠州の農倉利用

岩

モ、ウスデハシドー等の北線装有な場らしい花を

是だがら移しいワタスゲの群落はそなから自島、

響の遊ぶにも似てゐる肚棚である。

とになってあるが、これ

常は何れも奥地の水源地帯にある 成した治山治水が一朝にして水池 境木権伐を行ふものたらば施政以

に歸するのみならず本道の森林地 ためその結果は直ちに水源地帯の

内主要同川は映山物が症計量の後

水利問題に関しサル日道監修、土

【咸興】水利組合の黒林江取入口|を以てずれば容易に第四放水口か|スヌー、ピラの配付、部落ま

に引水し得ることが明瞭なり、な

別市、元旦を頼し各部落泉位の図。をする一方、繋むと直防和真の一町では駆時食合、新茶年末の戯時、防畠園重を連れ防火食機中央行進町では、ヒラの配付、部落または、防火新帆祭を執行し、それでり消スター、ヒラの配付、部落または、防火新帆祭を執行し、それでり消

機械合に押し寄せた解群をはじめ

た感波に乗つて鱸、鱸の大蝉がと

師明神祠に参称することになった

として太原附近の職職で育職中、

するまで本町二丁目元十八銀

のため情内に二院建六十坪の岩路

手行ふこと、なったがこれが

送

年まで総用物語者に**飲み、退職後**

大量水揚げに躍動

吉田松本兩 伍長の遺骨

江原道南方面に於ける大群の館に

引水工事は延長三百八十米内外では 第四茂電所と監設取入口 への

巡路局前照祭就行、新庄月氣分助

度二十 六萬尺メ、同十 六年度

山物や産計量を重きにして強ひて山物や産計量を重きにして強ひて

來多類の費用と努力を消費して造

見地からも軽々しく境本の発化をの需要増加の趣味及び治山治水の 木用に供することはその他の用格

代り取られてをり、これ以上を続い方面から移入してはとの意向らる。一の支戦としては有状態は計量の千年のが連貫は既にその七十六が、は本道の不足分を他道文は流池図、れ亦不可能でことであり、結局唯本道内の城末用様の二十年乃至三、東に封戦を観察中である、一方に、を修訂してゆる現代であるためこ

不足を来すことは必定のことであ、向って計量を進めてふるらしく成るが他逝も亦同計量により境木の 外なく取つきた質局もこの方面に

二 川、十七日忠州、十八日於城二、七日永河、九日朝川、十三日丹陽、十五日場川、十二日丹陽、十五日場川、十一二日報恩、大田、沃

鰛、鯖の大群南下し

果海岸に凱歌

一監件千餘四に達してゐると

仁川局增築 臨時引越し

がにして 洋服修織外変と得して

百餘の巾著網漁船出漁し

臣が臨船のはず、開進統計主 下各部人口動態調査事物打合資を「清州」忠北道では左の日創で管

り、流形関は毎年本道から平北道 | 木不足からみて本並内の姚而物碧| 不足を來すことは必定のことであ | 向つて計畫を進めてみるらしく場

罪は地圖にあり

大騒ぎごなつた黑林江収入口

調べてみたら案外

「華僑が十六萬尺の後々たるもの」 興へ本道の多角的獲展を防護する ことは火を見るより明らかである

保者一周那く私用を開いた、現地条外容易に解決することが炯明観 同現地調査の結果は技術的に見て 木の刺縁及び水組製係技術員が協

かけたのは水組、農務課及土水源 に改建される問題が大概さになりある、實地を調査すれば案外容易

月体を防止するために背巨中心の 雕、元旦の名刺交換會別能、精正 長のために各原治、町で娯樂食用

(寛真は防火新願祭) の契助変使用避難流習を實施した。一般行連終了達結取青年質節原上か 部は各月の火の元調査を行ひ、食

他は他然所说を最し一方そのため

に臨院、竹邊、野路方面の流

提出进行4一日午後等時二千分消

市州県田北故吉川、松本崎佐

歲末商賣戰線 清州の大賣出

【清州】北支戦線で護國の郷と化

忠州へ向ふ

防組制組頭その他の公職につくし 蘇雅で朝鮮酒の際造場を福賀し消

マイク寄附

見送り裡に出州に向った

で使用してゐた五萬分の一地間の

門川の模様が製化してみたためこ

陸海軍へ各々

年北道からゆ入権民ともある影響。による各方面における影響が成大年十一萬尺メを要し年々不足分を一ので、本道常周では緩慢や能計量

咸北號献納終る

なほ残餘の基金五萬餘回は

忠州郡躍起

で道理成合ではこれが配納方に一般特手権をとつた、しかして陸海一後飛行場配納運動に轉物第二段の 方鞭長)は 廿日上城、 朝鮮軍に | 運動はこれをもつて | 段落とし鋼 するととなり上野郷成育理事(地

新式醍醐穰)及び稚園穰(海軍」とごるが発動五萬餘間は既報の通 | 再三協議を重ねた結果陸軍権|| 服機は各七萬五千圓で計士五萬圓| 愛國運動が幾けられるととなった

所開體職員の實行協測、貨牌ボ

「極南」九十萬道民亦誠の結晶堂 | 經婚後) を各一変宛それか、戦納 | り飛行場似的基金として保留で 飛行場献納運動

四枚『成北號』(統約基金は十一月

能感言すべく各自画をして既長、 市場關係中心人物の座談會を開か は年中諸行事を陽階で行ふことを することとたったが清州郡衛局で | 診歴を賦止し、一斉服務を資施| 「満州」 既報、忠北道では明年か

こととなった、よつて愛國機能納

の問題といきまくに至つたもので 萬三千町の家利民の死活に関す 陽暦の徹底

で徹底を捌してゐる 【仁川】一日國防、防火官院日に 防火日 各地の行事

【廣州】野野署では出る一日午前 一時から帰員並に消防組員全員を

唱、散食後直ちに廣州公普梗感で 防火食機のための消防消費をなし 桁類祭を繋かに執行し、落談を三| 度幅で込みまさに漁師は駆牧け騒 農村神祠関場に建め関防及び防火

の接には一網一萬間から五萬圓程。選撥船の大不足を生じこの鐵船主

時仁川麒祉に全種後自動取敷者に《隣査を行り防火資學文を配付した』め、各官公歌員は勿論一般市民もの2つ教教室では署員一関午前九一十七年上前防軸員は各員の火の元 | 橋州郡では毎月一日を建岡日と定し (職政府)

本年は支那界型物酸と金融便塞の

ため不況をかこつてみたので一輩

な意無込みで大甕山しを大

てしまったので夫尹は二人を られて果さなかったところ、

接とともに勇能勝石、騎兵上聯兵 大山里渡遊場主大月一氏は耶頓躬一一斉に証明けすること、なったが [十二] 岡山縣山東宮川城鎮港面 大月上等兵 太原で戦死

大厦川しは李台五日の奥服店津島一成。こと不義の極に味り、まる

【指州】既報:滑州南店街の竣末 | になる女の子がある身で同里

景品大いに奮渡

本であるが景品は大いに衝破して -四州で最品学数は昨年回標五萬

茶畑、重柏、オーバコート、三計、亳布、朝鮮薫物、路仙区物 地を視察させることしたった 十四日から四日間に亘り左の先前 は進内部落中心人物を選拔し來る 先進地視察・北部局で中心人物の「清担」中 山市内及長項本忠商牙山部

[編] 新、井野、野川三ヶ部 を管轄する忠州土木管展では週間 道路の修理督剛

銃後の守り 一服明朗

二一五三二十 價 十十十 例例超過過超

本 舖 図

は矢岩、鍼域部にて】||をはり| をもつ高原であらう【意識

げ種田でこととなってるるが船取

くまでも日表題記を押し本耳の市古指与してこるので都常局では他

一般商船組扱ひで八幡製能所に向 惠山殺婦谷祭経由で城津港へ初 即北斗日面のマグネサイト語の

等働者院級または婦人中にまた實 普及単は九朝以上を示してゐるが

描を置ること)なった。

酒の密造防止

関南帯それから直ちに取りつけエト を釈に接し成果府では廿九日には あった奈川央にボイラーを積んだとの 1

るない、府では頭負者に緊逐する

水原劇場(水原三、三

「表別」去る廿三日博多を田幌し」ろ称もに称った船は廿九日入湖は「武翼」去る廿三日博多を田幌し」ろ称もに称った船は廿九日入湖は

事を感ぎて、自には特望の交替なが公倉室の高度文は全然見違いも、実育者でれから直ちに取りつけ工との手違ひの物頭につとめてある。

【清州】郡内の頭鮮人染色衣着用|は膨緩を加へることを勧告するこ

次の市日まで、なほ賃行せの場合 レベスの増長で二東丸の印を附げ

白衣を征伐

快哉を呼ぶのである。

日曜りにはありの総谷

は脅無部の山々連りを

のり、衛に行為で許をう

の雄大な気景に思いず

欧尔 製 樂

- 釜山田帆

朝鮮汽船出帆廣告

國際運輸支店

らものとみられてらる- 「前の歌見を先頭に機能の音も夢」は勝火が「電池と立ち見滅に対 賞え滅し去の通りで、たか(「地」火がのサイレン町の物(五手を可能に指常機小のやれならに至一分乗「火の用心の赤蛇に押した」【精州】整理者に関股機構建動。ることとだった 人質問題並に入 今等前者からな (文子) ■ 『一章 「「「」」といった。 し防火思想の徹底を期すべく市内。作が多い

火の用心(六年村花穂)▲二棒

一般とたり高小校のミシーが一般となり高小校のミシー

平南の造林擴張

この儘では治山治水台なし

痛し痒しの

對策

の見事二千餘名である

人口調查打合會

排語を郭黙し防火デーの初日、入初等単校四年以上の見覧から防火

となったが関値 間間 昼

松林 朱安の五校五年生以上

(世の住が日を下し仁川少年赤十七川) 來る廿三日島太子殿下師 一郎結婚式を公會生で繋行するこ

廿三川結開式

では午前九時相員の非常召集を行

1川少年赤

宣傳につとめた

であるためこの問題を重大視し慣」で移入して幾つた分一萬尺ノ係り

窃盗團

頭痛や

めまひの時

眠不足から來る

○西 輔 航 路 ○惠君 輔 航 路 ○惠君 輔 航 路 ● 西 本

東東州 日政市側五日七川八日 本 海 丸 15米州 日政南北 日七川十日

日朝鮮那船廳出机

神經が

イラつく時

一の高単線 美田・福門・海戸等池 の高単線 美田・福門・海戸等池 機 角。丸 世川五日 群山六日 木浦 日 地川五日 群山十日 木浦 日 東江 丸 静山十日 木浦 日 と川九日 静山十日 木浦 日 と川九日 静山十日 木浦 日 と川九日 静山十日 木浦 日 と同党を行 生角等個等

发 與 丸

正泉 博多道斯──**藤月春湖**

めまい 重痛 主

歯の痛み精神憂欝 頭の疲れ

七川 日 群山 日 未顧 日 の 本語 日 の は 正 九 大選辛日 七川三日 の 上海 す ・ ぬ行 (木航中)

〇大連急行 情 江 九 仁川 日 大連 日 情 江 九 仁川 日 大連 日

〇北 鲜 航 路

マ州 九 元山市日 端本十日 マ州 九 福川市日 端本十日 〇教製行 新輝編 舞鶴 一貫北上 明年夏 市北 城 報道日 流津田日 南 北 城 報道日 流津田日 東 城 田 南東 日 日 元山 田 日 元山 田 日 元山 田 日

ます。 サンノーの有難味はこゝでわかり その氣分の爽快なること 顔の疲れはきれいになくなる

明痛はピツタリとまり ンノーのめば三分間

で刺すやうにチクチク痛む時でも がガンガン割れるやうに痛い時、

の七月上旬二人で男の質家へ駆逐

ます よくなり頭腦を激しく使ふ現代人へますので生き生きと顔の血色も チンノーは頭腦に栄養と活力を興 には必要薬で廣く愛用されて居り

(各學店、デバートにあり)

日本類似定期以外

京城南大门通り五ノー

專ら軍需資本目標に編成

それでも要求多くて蔵入不足の悩み

【大邱】般時體報に於ける慶北道 | 細に検討することになったが右型 | 状質に對しては脈域を加へればな | 用して愉順に努めてゐるに拘らす 求類は前年に比し二百萬間の岩加一らぬ賭係上來年一月一杯は夜空に 慶北明年度豫算は編成難 【忠州】趣坪二百五十坪の忠州歴 発達は却つて極帯の傾向にあり、 展長または面裏頂帯の家庭から概 々と選反が競見される質情にある しかも地方有機階級たる面協議員

ので、現下非常時局に既會し國民 本八婦はマッチ、最出祖教場所は七百本で十一本五十銭、大等 年末警戒陣

志事以下職員標動員で管下各面は

株式資配永河採綿工場における 路の大修理を管理中である 工場内は棉の山を築いてゐる八日現在で百七十六萬餘斤に の棉花取扱高南北極水同線綿工場(永四)



所

● 山行 (飛行) 月廿回在十 一時





爽力

作用の緩和な

Vel 基 基 har ha 不可ませる高級の 和成落 ません 金融を表す 見た 店商屋

展帯口座東京七1〇 南朝のマヤ 電前領花(6)ニニニーニニニセ

包入凾打一はに當見四二・包入凾個六はに當見圓一・包入凾個三はに當見竣十五

殿北親各一機を批判すべく計場費 東七萬五千剛を引たので、道民代

|日暦できの||然し報任者を发め指定機能振り外||源光視を附する必要がない、大京||けである生と、のへた||のある外域は会歌鉱機してもよく||のは黙凊後は消し、かり右域大は||病も久しよりに夜景が見ら

とを買ってと機械の強ツ眼る 人だいと云ふ人々もあらうが

の非給はサラリーマン生一員にとつてはる黄金の雨をみ でもないが、あれを排う、摘要約二千五百間の解給、

具金屬强盜

早くも御用

線の配置がない地庫でも断壊接後一生乱被集節壁で転襲基盤のあるも一手出で織末所職に死物征が

二ヶ月振りに光の街

災は熱減に燃えて隣種軍に

各一機を献納

数多の不識事件を職し貧局法拠の

間、それと、飲納の手機をとつた

お年玉煙草

今次事變に際し割思想を一蹴して地方とされてゐた平北宣川郡民が

| 関思想に韓向して以来、最多の

職場へのお年玉として署名のカー

豫定量を突破

石炭、金等の護石や木がその他が日から哲業を開始するが同地方の

成社のお家騒動

理路署メスを揮ふ

民を一丸とする愛國機宜川機酸納美族、著行を岳みつくあつたが郡

る計職は十二月一日から質慮され 上海丸で悲しき斑蛇の途についた。ドを導へた標準『かちどき』を送 | | |

で代表者等水管氏はよる中四

火管制を緩和

責任者を定めれば門燈→OK

一寂しい感じを一級ファソに異へ って波紋を座じ、その成分は街のたところ、戯近さの情報権を

武があつた、貧民は御仁語の御歌で、近く内勢省で謹賀複製の上 に民族出現の肥終にして一及び總費府に東援海軍御用者を訪



えた老兵が夕朝の住腹に夢中になつ



ではして接座し、その人が獨 時計

「文は子黙馨に就て」であるが、「院町二〇福島前一郎氏(ま)がこの、した、主論文は『都椒の情報(統) 國の家々にからまる――京娘診察

妻なき後男の時でも「観や郷たちには絶対知

配関の前衛根に、株は陸北病院に

の子、今もなほ散然と夫婦二人は、担肝な決意を示し父の悲しみも請述あるのみと流石は。軍機の父々、かけつけたと云ふ一宗こそつての

月ごろから重新の床につき、そ

つた拠氣が老の身にこたへたかす。 老父の妻を戦めるのは霊忠報園の ・ 電を隠して参加・終了後はじめて・ 主义の妻を戦めるのは霊忠報園の ・ 電を隠して参加・終了後はじめて・ と、忠

家悉く愛國の權化

香港に積出さる

支那兵專門 太原から約二里程 戦傷者授産場は

尿城府内に設置

療養所の候補地は研究中

生活機能収いては これは銃後國民の責任でも れく、表現されてる

党所を設け条族と一緒に解棄田來 既にその包要顕素数額を現地に達の都であるといっので温泉地に飲。萬二子本)を輸出することに定め

こ除燥後、傷の痛みの出た中 | 静的計畫成り、寒夏局では第

「国」びにひたる人々は約五首名、年均、押し入って『共産黨員だ、豪牧を たところ事件競生後端一日即もこ

便とすれば捨て置けぬと同劇場に

若草町の追剝

招られます。 語にちすめれば納

魏部西二面東山里愈敬添さん方に 各署は犯人権暴に難退になってる、飲食、一日生免六時ころ京裁道始 選があり、所郷永登油署をはじめ

鍾路署また名をなす

程の通であるが、その事實制理のになり興味を唆つてゐることは既

不体紡後に餓寒した論功行賞と「(三宮六十周)を強撃進走した怪」大鷹州郡都尺面戦杖里101串象人五間の飛給で水製郷鞍以来不「提供し ろ」と考 追、賞金 魔斗監。日午後七時半備踏署刑事際が右狐三人五間の飛給で水製郷教は

その死をめぐる血涙篇

總督府の計畫具體化

肚で、その場所に就いては研究中」あるが、第二回は奥地方面へも主

鮮産煙草

離よ北友へ進出 - 島名物唐辛 美人を生む

城大申學士の論文

た決して跨つてはたらの」と聞く遺音をして目前、目露の顕現役に出体した老男士のこの父は大住・丘を遂げた。『東國の

改見、内部町廣彦病院で宇宙の結

阪大教授會をパス

京城府廳員 **山百名昇給**

過去を清算して 献納の手續きを終る

おいて根放験観の業と飲つた讀」に明らく出来でなり候に各字室に遺骨上一海發」同盟』集総、朝に配利し窓に大きく全種に非常報・道戦十一の。 【上海二日 で一人男子郵客式賦得を通路の階報・道戦十一の一等年に一級大萬頭、全展望車 が煎る好成粒であるが、こ

更に一部営業

りである

松弟恐咤住居住入前科一班申東は しオーバ、背景、椰子、糀を祈祷!

今年五月西大門飛揚所を出たばか一員の正

花柳病専門

防寒の御用意!

※ 豆口窯内 エンドー紳士服店へ

奥布望の於は電話不局一五六番へ 女 中 矢用

告に限り勢に基庫にて掲載すの場合は対象の事件がある。自然の事件がある。自然を表し、自然を表し、自然を表し、自然を表し、自然を表し、自然を表し、自然を表し、自然を表し、自然を表し、自然を表し、自然を表し、

- 一月廿五日吸 ▼考査 一月七日 (英文科・家政科)

特别案内

死刑を求刑

(で記) 直接職 (安康) (で記) 直接機 (安康)

工・デーコー目 ・関連数でを挟致しよる一日から産資の重し終始はり続期借 受害動動車上検査不取取新上を以って時間車上検

同志社女子専明學校

秋友商行

猪にはあらで

術氣見舞いないこれ

ヘパトーゼ肝汁

等により いけるなどして………… 不気不識の間におつゆにくれたり、戦力や疾症やいたしかの・深動がつかにくれたり、戦力や疾症やいたしかの・深動がついた。

中部開始の多果を理げることが出来ます。

化して最高級の肉汁と同様にしたもの。増加法として昔から有名な肝臓食を現代

新館落成五十餘室

礼者招聘



ライオン統プドー酒補血婦灶剤 ケー印ブドー酒口水繁高方

行かれぬ悲しみ

貧少年自殺を企つ

の砂糖が収集影響

帝國大學, 医导跃道, 亦十字各版就非定個用

でした。

日本ので、影明早として良た口角丸構来所に放て本典を取ってあります。 一方常り二百石 一方常り二百石

は、記述というに利用し、一番ロより出る石根が1回の物と、記述というに通知ロの発を指摘する。 「記述というに通知ロの発を情報となる場です。 「記述というに通知ロの発を情報される處に「概念他の 大し反對に更初の最が備少となる場です。

ում օրյարույթ դրարարարար արդարի արդարարարարար ընկարություրություն արդարի ու թույրություն արդարի ու որ արդարար Նաևու իր հեռանականում ու իրականում անականում անականում անականում անդանում իրականում անդանում իրականում է ու որ 原田農具製作所

西松組京 城 支 店

會株

朝鮮ビル二階(電話長本局一八八二番)

京城府黃金町一丁目一八〇番地

and de la company de la co La company de la company d

総配販の一員、兄と姉が出征し、 軍務院に賦子さんを、劉務院町の大男東一君は。総配釈画への決事が誤うつてあるのである。龍山陸

磨齒秀優の得獨之才イラ (1)粉が散らず、 歯ざはりが真に気持 傷ける處も 粒が 衡と齦の抵抗力を強くし 細菌 味もぬけませ ませ よく to 品質は一 齒を清潔に致します。 るので いから 歯の表面を 他 **るりませら!** されば、すぐ 着清掃し 度